



PLACE TO GROW

Inspiring the next generation of Tohoku, Japan



Place to Growは、東北で被災を経験したコミュニティにおいて、次世代のリーダーを育成し、絆を深めることを目的とする、100%ボランティア主導の非営利団体です。

2011年3月11日の地震、津波、原発事故を受けて設立されたPlace To Growは、初動対応の緊急支援団体から、長期的なコミュニティ支援を提供する団体へと発展しています。

Place To Growのボランティアは、宮城県の小さなコミュニティを毎月訪問し、地元の家族や子ども、地域のリーダーと共に、ワークショップやまちづくりイベントを開催しています。



沿革

2011年3月の東日本大震災後、青森にあるインターナショナルスクール「オルティス・グローバルアカデミー」は、被災した東北沿岸部へ支援を送るボランティアの拠点となりました。

国際ボランティアチームが被災地に入り、大量の食料、水、緊急物資の配送、流通システムの整備などの活動を開始しました。Place to Growは、2015年にOGA for Aidから発展し、東北の次世代支援に焦点を当てた新たな組織として完全移行しました。

2011

13.11の震災直後、私たちは東北流通システムプログラムを立ち上げ、被災者の方々に十分な食料、水、緊急物資を提供しました。このプロジェクトでは、地元の人々との協力が重要な要素でした。南三陸町では、グリーンファーマーズアソシエーション（GFA）の活動を通じて農業による経済強化を開始し、農家5軒に対して生計の支援を提供、そして仮設住宅に住む1400世帯に栄養価の高い農産物を提供しました。



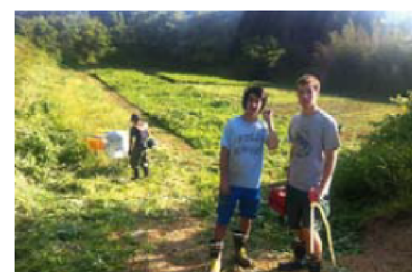
2012

私たちのコミュニティ・ラーニング・センターを改築し、そこを拠点としてMSRの子ども300人と高齢者120人を対象に、英語とコンピュータ教育を実施しました。私たちは、GFAを地域の有力な農業勢力として発展させるための活動を続けました。



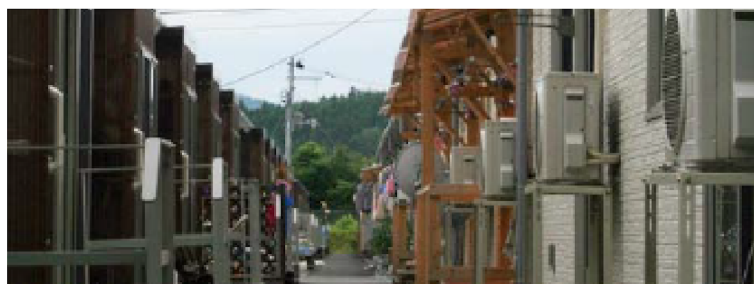
2013

GFAとの連携は拡大し、その後10件の地元農家への生計支援を行いました。2013年の活動を経て、GFAはグリーンファーマーズ宮城株式会社となり、2014年には地域の農業活性化への貢献が評価され、賞を受賞しました。



2014

「テーマヒマ」という新しいプログラムは、MSRへのフィールドトリップ、被災者とのディスカッション、講演やプレゼンテーションを通じて、学生や会社員がボランティアとして力を発揮できるよう支援するものです。東京、福岡、仙台から18回にわたりMSRへの訪問が行われました。クリスマスには、宮城の子どもたちに笑顔をお届けするため、「サンタ・ソウル・トレイン」を開催しました。



2015

2015年には、ボランティアとサバイバーとの絆を深める目的で、グローバル・ソーシャルメディア・キャンペーンを立ち上げ、更に講演やプレゼンテーションを通じて、被災者からの発信を推進しました。また、「Place to Grow」「ふるさとボックス」活動を立ち上げを通して地域活性化の機会を拡げました。



2016 2017

東日本大震災の被災者への関心が薄れてゆく一方で、私たちは教育プログラムの立ち上げ、交流イベント、テーマヒマプログラムの定期的な実行を実現することができました。また、寄付金活動を通して、熊本地震や東日本大震災で被災された方々をつなぎました。ボランティアやリーダーシップ研修など、活動の幅を広げました。



2018
-
2019

南三陸町から次世代を担うリーダーを輩出するため、教育プログラムや交流イベントを定期的に行いました。また、新たなパートナーであるSOGOフィットネス、南三陸Jrアカデミーと連携し、MSRの子どもたちの健康支援、英語力向上、日本の子どもたちとの交流などを行いました。



2020

世界的な感染症の大流行にもかかわらず、今後の活動を強化するために他のNPOや団体と連携し、次世代リーダー育成プログラムやボランティアの育成活動に取り組みました。PTGの常駐スタッフをMSRに派遣し、オンラインワークショップや南三陸Jrアカデミーの子どもたちへの教育活動を支援しました。MSRや宮城、福島、東京の他の学校の子どもたちにサンタ・ソウル・トレインを届けるため、地元のリーダーを支援しました。



2021

長引く世界的な感染症の大流行にもかかわらず、私たちは子どもたちのためのオンライン英語ワークショップを続け、MSRのメンバーだけでなく、ボランティアやその他の方々のための「持続可能な開発のための教育」ワークショップを毎月開催してきました。東北での活動10周年を祝い、東北の次世代を支えるために、地元のMSRリーダーと協力して、最後のサンタ・ソウル・トレインを開催しました！





10年間の インパクト

760人のボランティアが支える
サンタ・ソウル・トレインは5,000人以上のサバイバー
に影響を与えました

救援物資の提供と経済プログラムを通して7,000世帯以上
を支援

フィールドトリップおよび現地ツアー：
25回

災害救助支援金：
100万円

コミュニティと経済復興のためのプロジェクト：
38回

コミュニティと経済復興活動への支援金：100万円

フェスティバル、まちづくり、文化的イベント：
30回

子どものためのワークショップ：
100回

17,000 トンの救援物資を提供

24,000人以上の地域住民とボランティアに影響を与えました

ボランティア遠征：
900回超

アドボカシー・イベント25回、ボランティア研修150回を開催



10年間に行った 特別プロジェクト

文化交流プログラムおよび
OGA Kids
(2014-2016)

ワークショップ・講座事業に寄せられた支援金：
16,340,631円

595回の講座

1,000人の
ボランティア

35,500人を支援

グリーン・フ
ァーマーズ・
アソシエーシ
ョン
(2011-2015)

地域農業支援事業に寄せられた支援金：
31,172,091円

経済的インパク
ト
23,240,000円

3,500件を支援

スタッフ14人,
ボランティア927
人,ボランティア
遠征
60回

テマヒマ地域
ツアープログラ
ム
(2014-2019)

交流ツアー事業に寄せられた支援金：
6,522,600円

フィールドトリ
ップ・ツアー2
5回

ボランティア
373人

733人を支援



目次

2011-2012

ページ 9

救援活動や地域活動を支えた南三陸市民への支援として、設立後2年間で15,276,081円の支援金を集めました。

2013-2014

ページ 11

地域社会・経済活性化、ボランティア育成、文化交流活動、現地視察プログラム、物資配布などの支援として、29,512,642円を集めました。

2015-2016

ページ 13

地域社会と経済の活性化、ボランティアの育成、現地ツアープログラム、国内外のアドボカシー活動などを支援するため、31,826,385円の寄付金を集めました。

2017-2018

ページ 15

地域と経済の活性化、ボランティアの育成、地域ツアープログラム、地域と国際的なアドボカシー活動の為に10,527,712円を集め、そして熊本地震への支援に充てました。

2019-2021

ページ 17

地域と経済の活性化、ボランティアの育成、現地ツアープログラム、地域と国際的なアドボカシー活動などを支援するため、5,844,863円の寄付金を集めました。

Santa Soul Train

ページ 19

サンタ・ソウル・トレインは、6,000人以上の子どもたちとその家族、17の異なるコミュニティ、数十の地元や海外の学校、チーム三沢の米海軍と空軍を含む数百人の地元や海外のボランティアに影響を与えました。



2011 - 2012

コミュニティへの インパクト

救援物資の提供

私たちは、南三陸町と気仙沼市に救援物資供給体制を構築し、家庭に水、食料、その他の救援物資を届けました。

- 登録世帯数 2879世帯
- 供給した総物資量 1500トン

コミュニティ・ラーニング・センター（CLC）

TCLCプロジェクトは教育支援システムです。国際的・文化的交流の拠点となるよう設計された本プロジェクトの下、様々なプログラムを通してスキル習得の機会を提供しています。

- 参加者 504人
- 英語とコンピュータークラス 355回
- 9回の文化的イベント

グリーン・ファーマーズ・アソシエーション（GFA）

GFAは地域における農業の再建を目的としたプロジェクトです。事業として農地の再生と整備を実現させました。

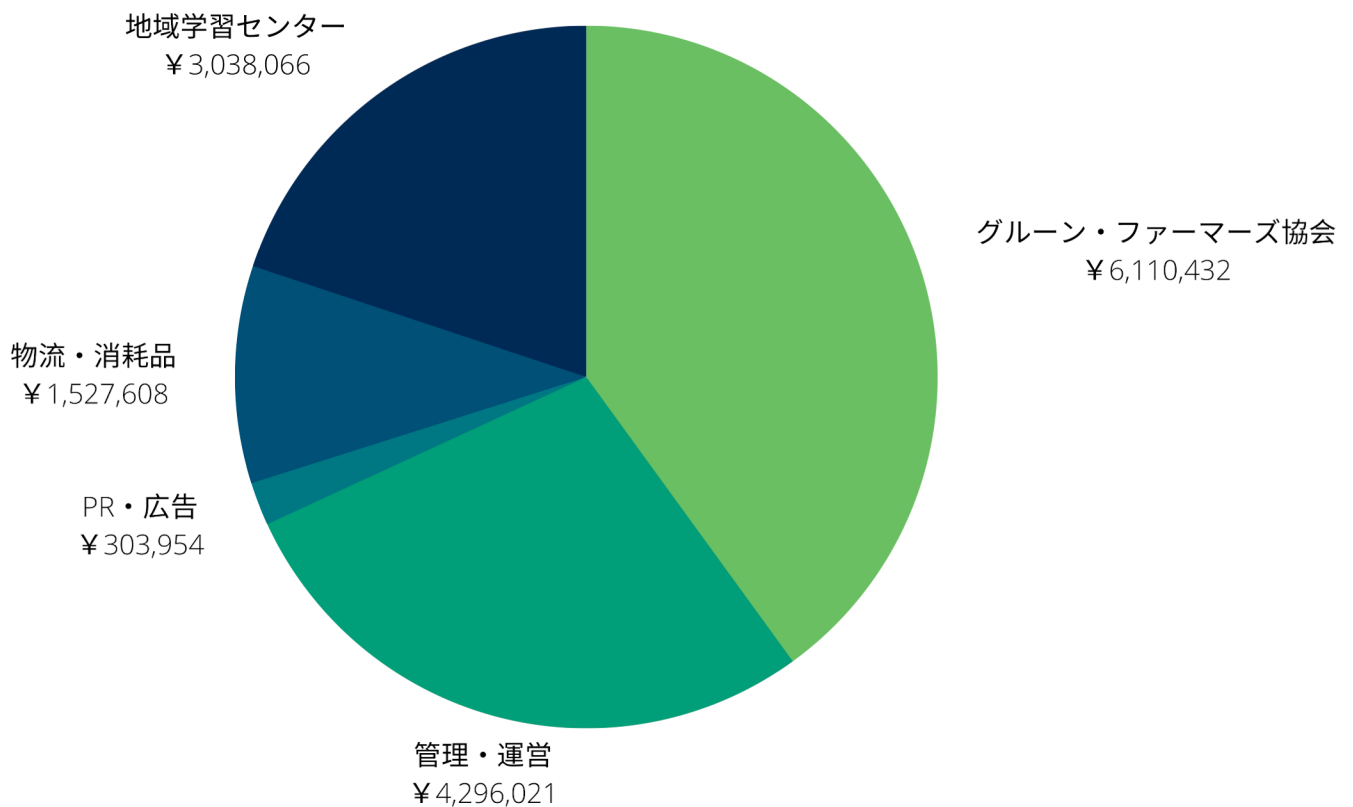
- 16の区画
- 14人のスタッフと100人のボランティア
- 新鮮な野菜の受取先は2500件にも及ぶ
- 650世帯への供給
- 「Save Minamisoma Project」を通じた350世帯への供給





2011 - 2012 経済的インパクト

私たちは、救援活動、地域活動、農業活性化活動を支えた南三陸市民への支援として、設立後2年間で**15,276,081円**の支援金を集めました。





地域の活性化

プロジェクト現場であるMSRのシーサイドセンターでは、地元の被災者や子供を対象とした授業やイベントを開催し、教育的かつ地元密着的な機会を提供することで、南三陸町の明るい未来を促進しました。

- 22回の地域再活性化プロジェクト
- 12回のシーサイドセンターイベント
- 6回の英語クラス
- 2回の年間行事
- 5回の文化的イベント
- 8回の地域密着活動
- 18回の課外活動
- 4回のインターンシップ

支援物資の供給

南三陸町と気仙沼市の家庭に対する毎月の支援物資の供給については、地域の協力者の方々がその企画・運営を行いました。私たちは物流の促進、物資の配送のサポート及び報告その他関連する活動を行いました。山形県の洪水被害に対する地域支援も行いました。

- 登録世帯数 1700世帯
- 供給総物資量 2750トン

シェルターの設置

カナダのGlobalMedicと共同し、津波によって設備や機材を失った漁師や農家のためにシェルターや倉庫を建設しました。海岸には50のシェルターが建設されました。

グリーン・ファーマーズ・アソシエーション (GFA)

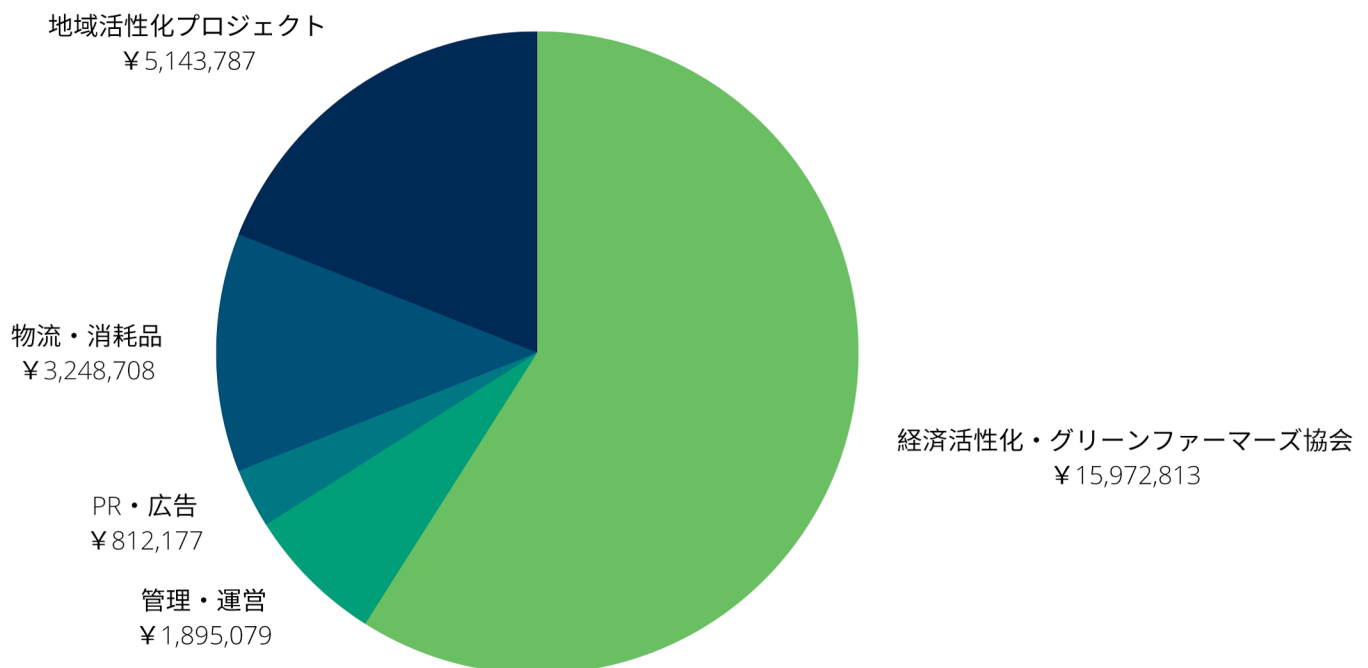
GFAは発足後急速な発展を遂げ、農業従事者の経済的安定性に貢献しました。今年は、志津川町にプレハブの二次加工工場を増設しました。

- 24の区域
- 14人のスタッフと307人のボランティア

2013 - 2014 経済インパクト



私たちは、救援活動、地域活動、シェルター建設及び農業活性化活動を支えた南三陸市民への支援として、**29,512,642円**の支援金を集めました。収益の92%はプロジェクト活動資金にあて、残り8%は来年に繰り越しました。





地域の活性化

子どもを対象とした新しい教育ワークショップの提供及びコミュニティの絆を高める趣旨の大規模イベントの開催に尽力しました。農作業を通して子どもとその家族の絆を高める目的でPlace to Grow プログラムを立ち上げると共に、地域のグループと共に「ふるさとボックス」活動を始動させました。

- 9回の子どものためのワークショップ
- Place to Grow プログラム
- 2回の大規模地域祭り
- ふるさとボックス活動
- 4回の経済再生活動

アドボカシー

私たちは、告知やボランティアと被災者の交流を目的として、初のグローバル・ソーシャルメディア・キャンペーンに取り組みました。さらに、レクチャーやプレゼンテーションを通して、被災者の擁護を促進しました。

- 2回のイベント
- 3回の大学での講義
- 2回の講演
- 6回の非政府団体に対する講義

ボランティア育成

ボランティアの方々の交流および新たなスキルの取得の機会として、特化型ワークショップ、講演、トレーニングセッションを開催しました。定期的なボランティア情報の共有および計画策定のために、毎月チームミーティングを開催しました。

- 3回のワークショップ
- 11回のミーティング

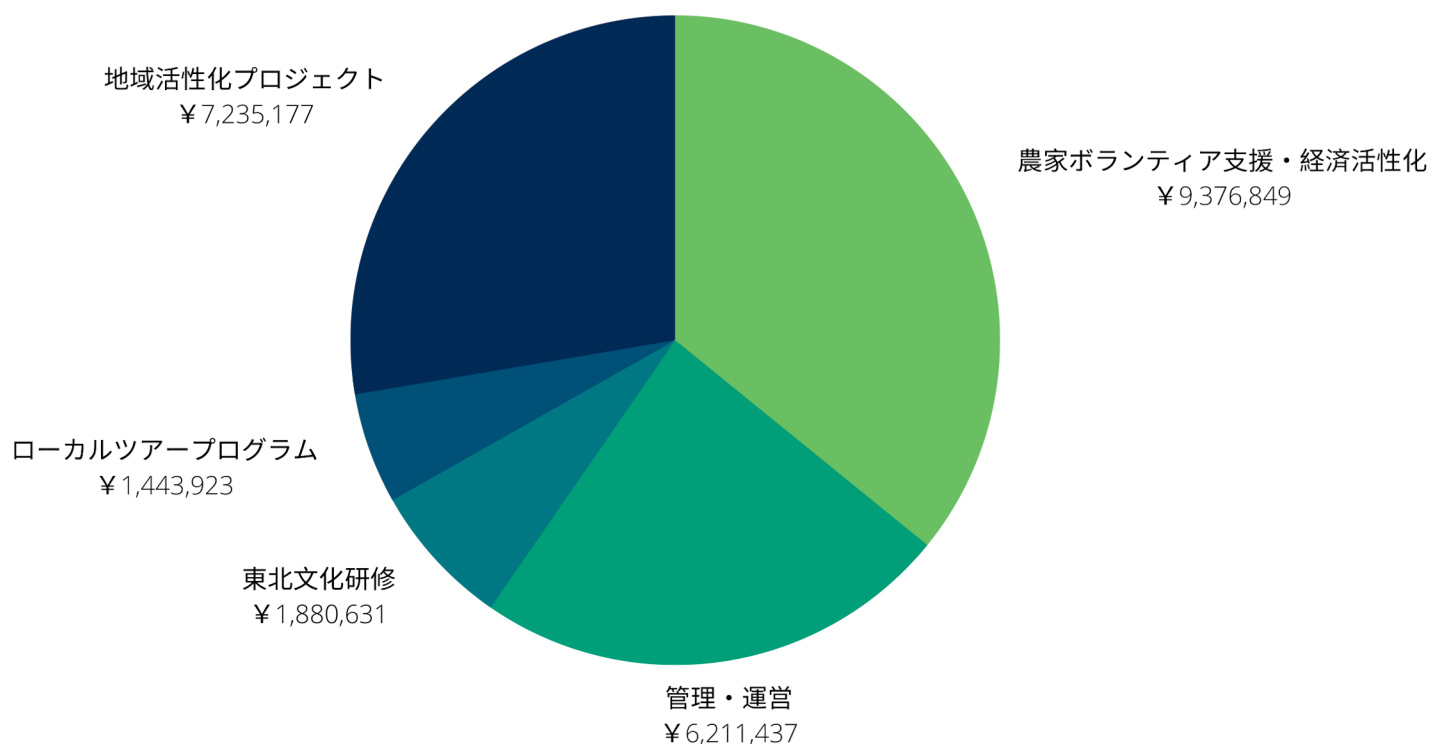
ローカルツアープログラム

2014年のテーマヒマプログラムの立ち上げ以降、私たちは毎年規模を拡大してきました。今回は旅行会社（近畿日本ツーリスト）と共同して、東京の企業やインターナショナルスクールからのビジターが地域のイベントや活動に参加しやすいようにと、ツアー形式を企画導入しました。

- 2回のツアー

2015 - 2016 経済インパクト

私たちは、ローカルツアープログラム、様々な地域活性プログラム（PTG、ふるさと、OGAキッズ等）、経済活動、アドボカシー目標を支えた南三陸市民への支援として、**31,826,385円**の支援金を集めました。収益の83%はプロジェクト活動資金にあて、残り17%は来年に繰り越しました。





地域の活性化

子供たちのための新しい教育をテーマとするワークショップの開催や、地域の絆を深める規模の大きなイベントを行うことに注力しました。新しく2つのパートナー企業も迎え入れました。子供たちの身体的な健康をサポートするSOGO Fitnessと、新しい英語学習活動を提供する南三陸ジュニアアカデミーです。

- 15回の、子供たちのためのワークショップ
- 福島県いわき市へのワークショッププログラムの拡張
- 6回の大規模な地域のお祭り、イベント

アドボカシー

ボランティアや地域住民、大学生に地域活性化に関わってもらうことにより、我々の活動理念を継続いたしました。その持続的な取り組みが、新たなボランティアの迎え入れ、また新たなトレーニングの機会の提供につながりました。

- 4回のイベント
- 1回の講演会

ボランティア育成

ボランティア同士が顔を合わせ、新たなスキルを学ぶ場として、特別なワークショップや講演会、研修を実施しました。月次開催のDevelop Yourself to Inspire Others を紹介したSarajeonを新たなアドバイザーとして迎えました。

- 4回のワークショップ
- 11回のミーティング

ローカルツアープログラム

Johnson & Johnsonのとの新たなパートナーシップにより、「てまひま」プログラムを強固に維持しました。Johnson & Johnsonのスタッフは数回にわたり南三陸を訪れ、2017年の夏祭りで「南三陸トコヤッサイ」のイベントを盛り上げました。

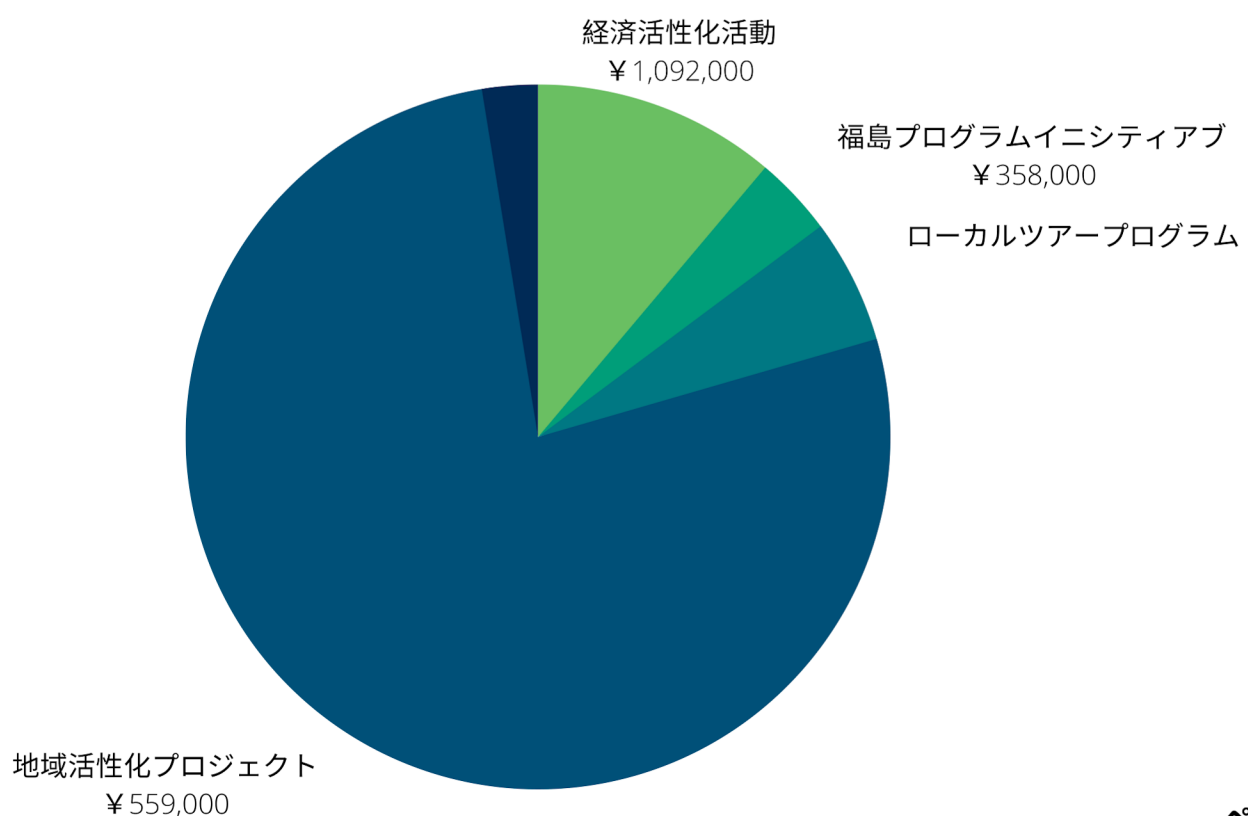
- 4回のツアー(および1回の地域のお祭り)



2017 - 2018 経済インパクト



地域ツアープログラム、様々な地域活性化プログラム、経済活動そして我々の活動理念をサポートしてくれた南三陸の住民への援助として**10,527,712円**の資金を生み出すことができました。福島県いわき市での新しいワークショップを始動させ、2016年の熊本地震の被災者に対する援助も行いました。収益の91%はプロジェクトに充て、残りの9%は来年度への繰り越しとしました。





地域の活性化

2019年、世界的なパンデミックが起こる前に、子供たちのための運動や教育に関するワークショップを開催することができました。2020年には子供たちとその家族が参加できるような、オンラインでのワークショップ・アクティビティに移行しました。対面でのイベントとしてのSanta Soul Trainは2019年が最後となり、あとはすべてのイベントをオンラインで開催いたしました。

- 4回のオンラインワークショップ
- 9回の子供たちのためのワークショップ
- 3回の大規模な地域のお祭り・イベント
- 1回の校外学習

アドボカシー

ボランティアや地域住民、大学生に地域活性化に関わってもらうことにより、我々の活動理念を継続いたしました。持続的発展のための教育（Education for Sustainable Development）ワークショップ（月1回開催）を南三陸の方々、ボランティアおよびその他興味がある方が参加できるようにしました。テンプル大学での講演会も行いました。また、3・11から10年の日を追悼する式典も行いました。

- 15回のイベント
- 2回の講演会

ボランティア育成

ボランティア同士が顔を合わせ、新たなスキルを学ぶ場として、特別なワークショップや講演会、研修を実施しました。月次開催のDevelop Yourself to Inspire Others を紹介したSarajejanを新たなアドバイザーとして迎えました。

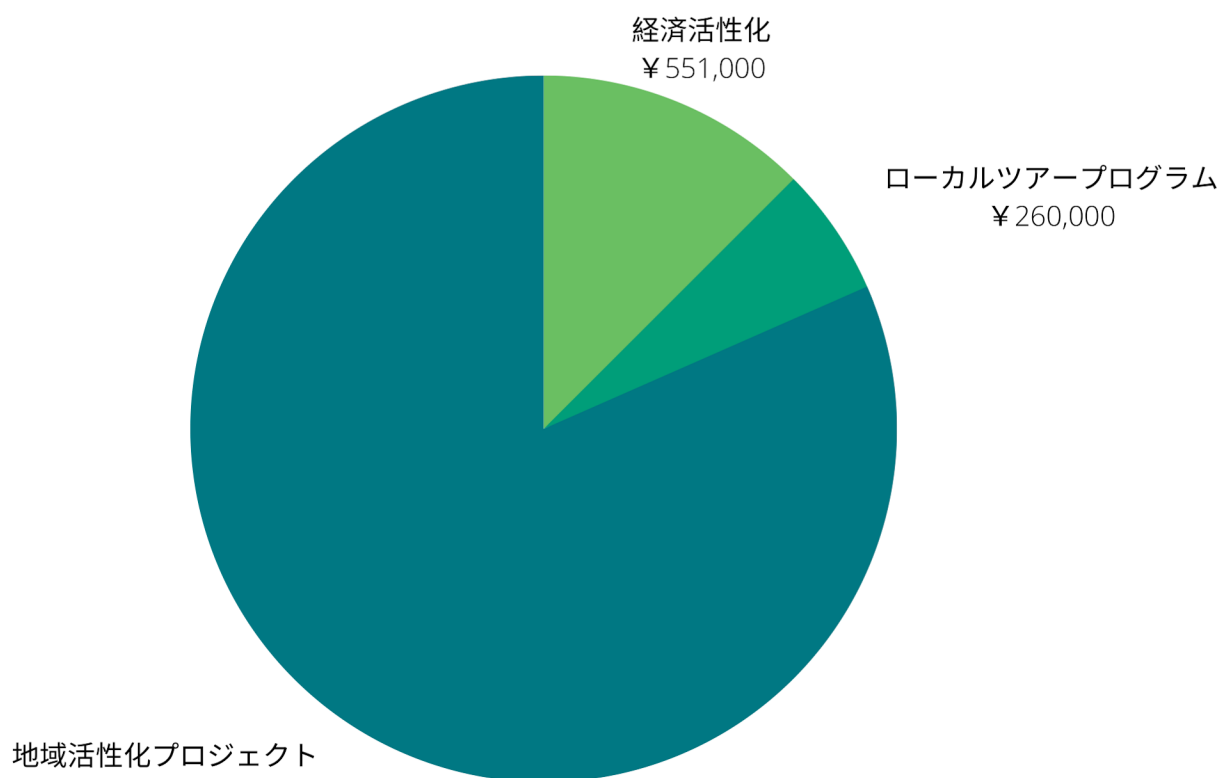
- 8回のワークショップ
- 11回のミーティング





2019 - 2020 - 2021 経済インパクト

地域ツアープログラム、様々な地域活性化プログラム、経済活動、我々の活動理念とアニバーサリーイベントをサポートしてくれた南三陸の住民への援助として**5,844,863円**の資金を生み出すことができました。コロナ渦でもなんとか持ちこたえ、子供たちとボランティアの方々に教育の場を提供することができました。収益の76%はプロジェクトに充て、残りの24%は来年度への持ち越しとしました。24%の部分については2022年前半に、子供たちに受けたオンラインワークショップや活動理念に関するイベントのためすでに支出をしています。





サンタ ソウル トレイン

サンタ・ソウル・トレインは、過去10年間でPlace to Grow最大のコミュニティ・イベントのひとつとなりました。当初は、日本全国から集まった人々と東北の子どもたちや地域社会を結びつけ、自分たちが忘れられていないことを思い出させ、被災者の方々に再びつながる機会を提供することを目的としていました。やがて、地元や海外からのボランティアの支援により、サンタ・ソウルトレインは、地域の連帯とコミュニティ・スピリットの構築に焦点を当てた、より大きなイベントとなったのです。

毎年南三陸町で開催される「Santa Soul Train」では3日間のイベントを開催し、日本全国の学校間でクリスマスカード交換会を行いました。また、毎年数千人の子どもたちにクリスマス・ストッキングをプレゼントしています。

サンタ・ソウル・トレインは、6,000人以上の子どもたちとその家族、17の異なるコミュニティ、数十の地元や海外の学校、チーム三沢の米海軍と空軍を含む数百人の地元や海外のボランティアに影響を与えました。

サンタ・ソウル・トレインを成功に導いてくれたインターナショナルスクールのパートナーに感謝します。

- アメリカンスクール・イン・ジャパン
- オハナ・インターナショナル・スクール
- ニシマチ・インターナショナル・スクール
- 名古屋インターナショナル・スクール
- OGA インターナショナル・スクール
- K・インターナショナル・スクール
- 福岡・インターナショナル・スクール

また、「Santa Soul Train」は、セレブリティのサポーターがいなければ、子どもたちやご家族にとって、これほどエキサイティングで楽しいものにはなかったと思います。

- テレビでおなじみのStuart-Oが、Soul Trainとのコラボレーションでエネルギッシュなダンスを披露し、みんなを踊らせました。また、サンタとして靴下を届けるお手伝いや、保育園や幼稚園でインタラクティブなダンスを披露しました。
- テレビタレントの早見優さんがメイン司会を務め、ステージでパフォーマンスを披露し、参加者に優しい言葉で励ましてくれました。
- 歌手のチャーリー岡村は、その魅力と華麗な存在感でステージを盛り上げ、誰もが一緒に歌いたくなるような伝統的な歌の数々で楽しませてくれました。



この旅と「Place to Grow」のレガシーに関わったすべての人に、個人的に感謝したいと思います。

10年以上に及ぶPTGのプログラムの中で、東北・関東地方の何千人もの子どもたちが、互いにつながり熱心なボランティアや故郷から遠く離れた場所で、勇気を与えてくれる大きな夢、未来への希望など、意欲的な気持ちをはぐくんできました。

PTGのビジョンに沿い、また世界中から集まったボランティアやサポーターの熱心な取り組みのおかげで、南三陸町のリーダーたちが責任をもってプログラムを実施するようになりました。これはPTGのレガシーであり、寛大なボランティア、スポンサー、パートナーの温かいサポートがあったからこそ実現したのです。

PTGは2022年4月1日付で、関東におけるリーダーシップやスタッフの仕事を縮小して原点に立ち返り、南三陸のPlace to Growのリーダーたちに光を当てることにしました。PTGは今後、「地域による地域のための」組織に道を譲り、ソーシャルメディアやボランティア活動などの東京で運営を終了します。

私たちは常に、東日本大震災の被災者の生活再建を支援する草の根的な組織として活動してきました。この精神が生き続ける中で、関東を拠点とするPTGのリーダーとボランティアは、活動に参加したことで自身の人生が変わり、独自の成長と社会的インパクトをもたらす道を歩み続けます。

この11年間、私たちが関わってきた東北と多くのご家族は、私たちの心の中に永遠に残ることでしょう。私たちは、これからも彼らのために行動し続けます。特に南三陸町は、多くのボランティアやチームメンバーにとって特別な場所となっています。

私たちの大切なボランティア、スポンサー、パートナーの皆さまの辛抱強く、寛大なご支援に、改めて感謝申し上げます。



地域の熱心な支持者

私たちは、一人ひとりに感謝していますが、特に、長年にわたって影響を与えてきた当社の取締役および主要なリーダーには、次のような謝意を表します。



後藤 伸太郎 と
大場 黎亜



稲本 都志彦



阿部 憲子



及川 吉則



渡部 Peter



渡部 ゆこ



鈴木 美和子



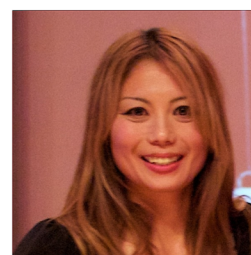
Belva Kotlarczyk



鈴木 のぶこ



星 ゆこ



畠山 ゆかり



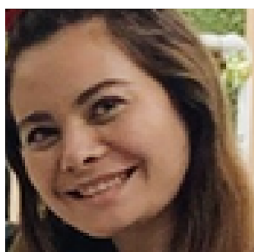
山内 松吾



Angela Ortiz, Place to Grow創立者と地域活動プログラムのリード

地域活動プログラムのスタッフ

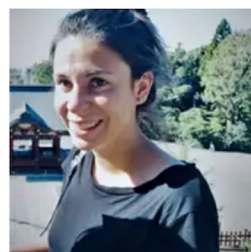
写真非掲載:
Kai Goldstein
Claire Kim
Mashi Noguchi



Iori Forsyth



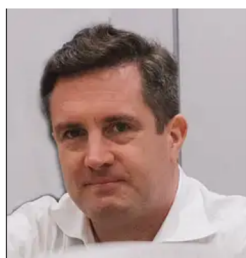
Kayleigh Ward



Anicia Zeberli



チームについて



Kyal Hill, 会員と事務のリード



Ayako Kobayashi, 事務のリード

事務のスタッフ

写真非掲載:
Ryusuke Suehiro



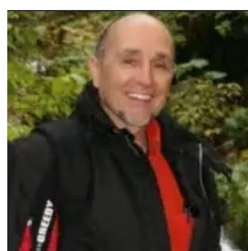
Aki Endo



Kevin Zona

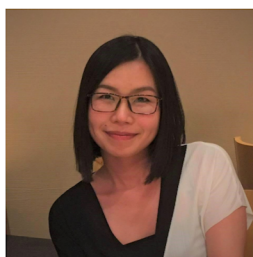


Masaya Takakusaki



Erwin Ortiz, ITのリード

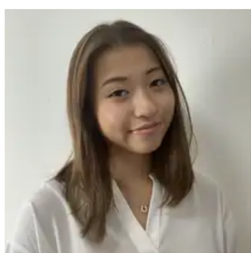
チームについて



Chen Chen, マーケティングのリード

マーケティングやメディアのスタッフ

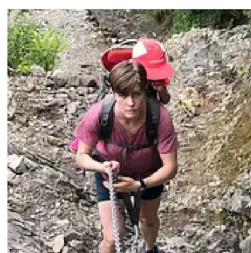
写真非掲載:
Go Yabuno
Rui Xiang
Alexandra Venn



Lisa Masayama



Dominique Ron



Roselle Kingsbury



Andrew Abbey



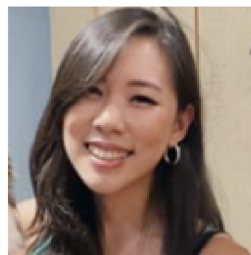
Koichiro Mikuriya



Miray Waki



Naomi Ledell



Samantha Low



Reiko Suzuki

ご協力賛
いただき
ありがとう
ございます



PLACE TO GROW

Inspiring the next generation of Tohoku, Japan

2011-2021 ご協賛

2011-2012

主な協力：三菱商事、西町インターナショナルスクール、アパッチキャピタルサービス、オーストラリア協会、Johnson & Johnson K.K.です。



2013-2014

主な協力：Give to Asia、レフュジーインターナショナルジャパン、ジャパンソサエティ、Knights in White Lycra、ブリティッシュアメリカンタバコ、Mozaic、The Tokyo Club、Johnson & Johnson K.K.です。



2015-2016

主な協力: Knights in White Lycra, KIBOW, JIC, Robert Half, 大鵬薬品, Nishimachi International School, Ohana International school, and Johnson & Johnson K.K. です。



2017-2018

主な協力: 大鵬薬品, Hogan Lovells, Nishimachi International School, Ohana International school, and Johnson & Johnson K.K. です。



2019-2021

主な協力: Vena Energy, SOGO Fitness, Nishimachi International School, Ohana International school, and Johnson & Johnson K.K. です。



謝辞

A

Andrew Abbey
Annie Chang*
Aki Endo
Aika Henry
Ayako Kobayashi
Andrew Peyton

B

Benjamin Whitwell

C

Chen Chen
Chika Keough
Claire Kim
Charles McJilton
Catherine O Connell*
Charlie Okamura

D

David Satterwhite
David Slater
Dominique Rowinski

E

Emily Downey
Elana Gilbert
Eddy Jones
Erwin Ortiz

G

Gavin Dixon*
Go Yabuno

H

Harumi Oyama
Heather Rocca
Henry Slater
Hoshi Yuko

I

Inamoto Toshihiko
Iori Forsythe

J

Jane Best
Justin Conley*
Judy Ortiz
Jesse Ortiz
Jackie Scanlan-Dyas
John Stanton
Joy Walsh*

K

Kenichiro Bernier
Kami Fukuda
Kai Goldstein
Kyal Hill
Keiko Kimura
Kayleigh Ward
Kevin Zona
Konishiki

L

Leo Bosner
Leah Fahy
Leo Fuchigami
Lori Henderson
Lucia Ishikawa
Lisa Masayama
Lowell Sheppard

M

Miho
Mike Hirota
Masayuki Kobayashi
Michael Martin
Mashi Noguchi
Meenakshi Ramasubramanian
Mikuriya Koichiro
Mai Shironita
Mark Spencer
Masaya Takakusaki
Miray Waki

N

Naomi LeDell

O

Oikawa Yoshinori

*諮問委員会 2020-2022

謝辞

P

Paul Bilney
Paul Jones
Paula Ortiz
Greenwood
Peter Watabe
Phil Robertson

R

Ryan Goldstein
Roselle Kingsbury
Reia Ohba
Reiko Suzuki
Robert Williams

S

Sarah Furuya
Shintaro Goto
Samantha Low
Sarajeon Rossitto*
Shelley Sacks
Sophie Slater
Suzuki Nobuko
Stuart O
Shogo Yamauchi

T

Tiziana Alamprese
Trevor Allen
Terry Christian
Toshihiko Inamoto*
Terry Swain

V

Vera Pereira

W

Wolfgang Bierer

Y

Yoko Fukamizu
Yukari Hatakeyama
Yosuke Miyazaki
Yuko Watabe

*諮問委員会 2020-2022



PLACE TO GROW

Inspiring the next generation of Tohoku, Japan